



平成 18 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 宮
代表者名 代表取締役社長 宮田永善
(JASDAQ・コード番号 9901)
問い合わせ先
専務取締役 近能欣充
T E L 028 - 634 - 3815

株式会社ジャスダック証券取引所への「改善報告書の追加報告書」の提出について

弊社は、平成 18 年 4 月 20 日付けで、平成 18 年 2 月期中間決算短信（連結）等の再修正に関する情報開示を行っておりますが、本件情報開示に関し、弊社が株式会社ジャスダック証券取引所に平成 18 年 2 月 14 日に提出した「改善報告書」の適時開示を適切に行うための体制等に関する内容が不十分であるとの認識により、「上場有価証券の発行者による会社情報の適時開示等に関する規則」第 23 条第 2 項の規定に基づき平成 18 年 5 月 12 日を期限とした「改善報告書の追加報告書」の提出を株式会社ジャスダック証券取引所から求められておりましたが、本日、別紙の通り追加提出いたしました。

1．改善報告書の追加報告書

以上

改善報告書の追加報告書

平成 18 年 5 月 12 日

株式会社ジャスダック証券取引所
代表取締役社長 筒井 高志 殿

株式会社 宮
代表取締役社長 宮田 永善

今般、弊社は、平成 18 年 4 月 20 日に過年度の決算短信等を再度訂正した件について、弊社が株式会社ジャスダック証券取引所に平成 18 年 2 月 14 日に提出した「改善報告書」の適時開示を適切に行うための体制等に関する内容が不十分であるとの認識により、「上場有価証券の発行者による会社情報の適時開示等に関する規則」第 23 条第 2 項の規定に基づき変更した改善報告書をここに追加提出させていただきます。

． 経 緯

弊社は、平成 18 年 3 月 16 日に、関東財務局より不適切な会計処理の修正を行った際の修正仕訳に誤りがあるとの指摘を受け、約 1 ヶ月後の平成 18 年 4 月 19 日に過年度の決算短信等を再訂正し、関東財務局へ提出致しました。さらに、株式会社ジャスダック証券取引所への開示が同日中であるべきでしたが、翌 4 月 20 日となり、開示の遅延を起しました。

投資者の投資判断に重要な影響を与える経営情報及び財務情報等を、二度にわたり修正を加える事態となったこと、また、再修正を行い正確な情報を提供するまでに 1 ヶ月余りの時間を要したこと、さらに、その情報の開示が適時適切に行えなかったことに対する内容及び経緯は以下のとおりであります。

1．適時開示が為されなかった内容

- 「平成 17 年 2 月期決算短信（連結）」の再修正について
- 「平成 17 年 2 月期個別財務諸表の概要」の再修正について
- 「平成 18 年 2 月期中間決算短信（連結）」の再修正について
- 「平成 18 年 2 月期個別中間財務諸表の概要」の再修正について

2. 関東財務局から訂正報告書の提出を求められ、提出するまでの経緯

関東財務局から訂正報告書の提出を求められた経緯

平成 18 年 3 月 16 日関東財務局から指示を受け、弊社専務取締役近能欣充及び執行役員浜竹敏明が関東財務局を訪れ、平成 16 年 8 月期について不適切な会計処理の修正を行った際の修正仕訳に誤りがあるとの指摘を受けました。（指摘を受けた内容は下記のとおりです。）また、修正仕訳の誤りを修正するとともに、修正に係る半期報告書並びに有価証券報告書の訂正報告書の提出を求められました。

この指摘を受けて弊社は、既に行っていた平成 18 年 2 月期に係る決算業務及び当該指摘を受けた修正内容の容量を鑑み、平成 18 年 3 月 17 日に関東財務局に対して、平成 18 年 4 月中旬を目標に訂正報告書の提出をする旨の返答をしました。

その後、弊社は速やかに平成 18 年 2 月期に係る決算業務と並行して、関東財務局に対して提出する訂正報告書を作成する作業に着手しました。

指摘内容

工具器具備品より備品消耗品費に振替処理した際、仮払消費税を含んで処理したため、販売費及び一般管理費が 4,103 千円多く計上されている事。

関東財務局に対して訂正報告書を提出するまでの経緯

平成 18 年 4 月 5 日、弊社専務取締役近能欣充が株式会社ジャスダック証券取引所に対して関東財務局から訂正報告書の提出を求められたことを連絡し、株式会社ジャスダック証券取引所から修正内容について適時開示をするように伝えられ、弊社専務取締役近能欣充はこれを受諾しました。

平成 18 年 4 月 17 日、訂正報告書のドラフト完成と同時に TDnet を通じて投資者等に対して開示すべき資料の最終校正に着手しました。

平成 18 年 4 月 18 日 19 時 30 分、亜細亜証券印刷株式会社から最終確認用データをメールにて受領しました。その内容を確認し、校了の旨を亜細亜証券印刷株式会社に伝えました。

平成 18 年 4 月 19 日 14 時に亜細亜証券印刷株式会社から E D I N E T 提出用「HTML」をメールにて受領しました。

同日 16 時 30 分頃、関東財務局に対して訂正報告書を提出しました。

同日 17 時頃、弊社執行役員浜竹敏明から株式会社ジャスダック証券取引所に対して関東財務局へ訂正報告書の提出をした旨の連絡をしました。これに対し株式会社ジャスダック証券取引所から直ちに開示するように指示を受けました。

適時開示が為されなかった経緯

平成 18 年 4 月 19 日 19 時 28 分、株式会社ジャスダック証券取引所の弊社担当者に対して開示資料のドラフトをメールにて送信しました。その後、当該担当者の指摘により開示資料の修正を行いました。

同日 23 時 23 分、修正した開示資料を当該担当者に対してメールにて送信しました。

同日 23 時 48 分及び翌日 3 時 54 分、送信した開示資料のデータ量が大きいためメールの送信が出来ませんでした。

平成 18 年 4 月 20 日 8 時 23 分、再度開示資料を 2 回に分けて当該担当者に対してメールで送信しました。当該担当者から再度指摘を受け内容の修正作業を行いました。

同日 11 時 59 分、開示に至りました。

． 問題点

1． 二度にわたり修正を加えることとなった理由

修正仕訳の処理時点での担当者間の認識違いにより、誤った修正仕訳の処理がされてしまいました。

処理された修正仕訳が訂正報告書に反映されている結果の確認作業において、有意的な確認作業が行われませんでした。

最終確認においても、訂正報告書の有意的な検証が行われませんでした。

経理業務における内部管理体制が整備されていなかったため、チェック機能が有意的に働いておりませんでした。

2． 再修正に 1 ヶ月余りの時間を必要とした理由

訂正報告書の作成において修正内容の容量が大きかった事及び平成 18 年 3 月 22 日から会計監査人による平成 18 年 2 月期に係る決算業務と当該業務の他に資本政策に係る附帯業務を行う必要性が生じ、そのための人員を充当したことによる人員不足の結果、当該業務が遅滞してしまいました。

当該業務を決算業務と並行して行う際において、職務遂行能力の不足により提出間際の業務が円滑に行われず、予想以上に人手と時間がかかってしまいました。また、従業員の当該業務に対する重要性の意識が不足していました。

3． 適時開示が為されなかった理由

本来、関東財務局に対して提出する訂正報告書の作成と TDnet を通じて投資者等に開示すべき資料の作成は、同時並行で進めるべき事であるにもかかわらず、訂正報告書を 4 月中旬に提出する旨の返答をした為、関東財務局から再三にわたる提出日確

認の連絡が入り、その焦りから関東財務局へ提出する訂正報告書の作成を優先し、この結果、TDnet を通じて投資者等に開示すべき資料の作成に時間的ズレを生じさせてしまいました。

適時開示の方針（投資者の投資判断に重要な影響を与える経営情報及び財務情報等を、関係法令・諸規則等に準拠して、公正かつ適時・適切に株主・投資者を始めとするステークホルダーに提供し、弊社に対する正しい理解と適正な評価を促進する）の周知徹底が、取締役並びに従業員に十分に為されていませんでした。

適時開示の方法（適時開示にあたっては、常時適切な情報開示が行われるよう、関係部門間の連携を緊密にした連絡体制を構築する）が、運用面で実行されておりませんでした。

適時開示に係る社内体制上、関係部門間の連携を緊密にした連絡体制が十分に機能する体制となっておりませんでした。

適時開示に対する内部管理体制が整備されていなかったため、適時開示の方針・方法等が適切に遂行されているかのチェック機能が働いておりませんでした。

以上の３点に集約されると認識しております。

． 改善措置

１．「改善報告書」の１．内部統制機能の強化（内部統制機能を組み込んだ組織構築）社内業務処理体制の再構築を変更します。（（変更後）表記において、変更箇所の下線を引いてあります。）

（変更前）

社内業務処理体制の再構築

外部のコンサルタントの支援を受けて、平成 19 年 2 月期中に社内業務処理体制を見直していきます。

（変更後）

社内業務処理体制の再構築

） 役員及び従業員の上場会社における「適時開示義務」の周知・徹底

上場会社である弊社は、株主及び投資家の皆様に対して投資判断に重要な影響を与える経営情報及び財務情報等の適時・適切な提供を行うことが大切な責務であることを、全取締役並びに全従業員が認識し、再度、適時開示の方針の周知徹底をいたします。また、取締役及び部門長については、具体的な関係法令、会社情報適時開示の手引き（株式会社ジャスダック証券取引所編）に準拠した開示項目等を熟知させ、各部門で当該業務における「開示項目確認シート」を作成し、全従業員に配布することで適時開示に対する認識を深め、日常の業務遂行においての適時開示に対する意識の向上を図ります。

） 経理部門員の能力向上

上場会社として開示される財務諸表は投資者の投資判断に重要な影響を与える情報であることの認識のもとに、経理担当役員はもとより経理部門員の経理業務に対する知識及び業務遂行能力向上の為に外部コンサルタントによる研修を行ってまいります。さらに、金融機関、取引先等の外部より有識者を招聘し、実務レベルにおける職務遂行能力の向上の為に適宜助言・指導を受けてまいります。

） 経理部門員同士の認識の統一

毎週月曜日に行われている経理部門打ち合わせで、経理担当役員及び経理部門員は、業務遂行状況を相互に確認するとともに経理業務における認識の統一を図ります。

） 経理部門員の増員

経理部門員の増員を図り、一人一人の作業時間とチェックを行う時間のバランスが維持できるような体制をとり、事務作業上のミスを速やかに指摘・修正できる体制を構築いたします。

） 経理業務のチェック機能体制の強化

経理担当役員及び経理部門員は、経理業務において誤った情報を提供することを事務リスクとして認識し、経理業務の遂行過程におけるチェック機能体制を強化し、危機管理を徹底いたします。

2. 「改善報告書」の6.適切な開示体制の強化（迅速かつ適切な適時開示を行うための体制）の以下の項目を変更します。（（変更後）表記において、変更箇所の下線を引いてあります。）

(変更前)

適時開示に係る社内体制(別紙4の「適時開示に係る社内体制」をご参照下さい。)

- ） 情報開示責任者として、取締役兼管理本部長を任命し、当該情報開示責任者は証券取引所に対しての責任者となっております。
- ） IR 担当者は、2 名を配置し、情報開示責任者の直属として情報開示の企画、立案、実施等を行うとともに、各本部の部門長及びグループ会社と情報交換を行い、情報収集を担当していきます。また、情報開示の内容、方法等につきましては、必要に応じて主幹事証券会社、監査法人、弁護士等へ確認もしくは相談を行っていきます。
- ） 情報開示責任者は、各部門の部門長及びグループ会社に対して、適時開示基準等について明示し、規則等の変更時には、必要に応じて当該変更内容を周知徹底させていきます。また、情報開示責任者は、全ての取締役の情報開示への認識を更に深めさせてまいります。

決算情報等の適時開示

- ） 決定事項に関する適時開示
弊社及びグループ会社に係る重要な決定事項に関する情報につきましては、部門長から担当取締役・本部長を経由して代表取締役へ報告され、取締役会に付議され、取締役会での決定がなされた後、情報開示責任者及び IR 担当者が発表資料の作成等の事務作業をすすめ、同時に監査法人、弁護士等による確認等を経て、貴取引所の規則に準拠して、速やかに情報開示責任者から情報開示を行っていきます。
- ） 発生事実に関する適時開示
弊社に係る重要な発生事実に関する情報につきましては、報告者（発見者）から関係部門長へ、さらに関係部門長を経由して、また、グループ会社に係る重要な発生事実に関する情報につきましては、報告者（発見者）から関係部門長及び代表取締役を経由して、情報開示責任者が適時開示を行っていきます。また、当該開示の内容は、情報開示責任者から取締役会へ報告されます。
- ） 決算に関する適時開示
決算に関する情報につきましては、上記) の決定事項に関する情報と同様の手続で、取締役会への付議及び決議並びに適時開示をいたします。

(変更後)

適時開示に係る社内体制(別紙4の「適時開示に係る社内体制」をご参照下さい。)

- ） 情報開示担当役員として、取締役兼管理本部長を任命し、当該情報開示担当役員は株式会社ジャスダック証券取引所に対しての責任者となっております。
- ） IR 担当者は、2 名を配置し、情報開示担当役員の直属として情報開示の企画、立案、実施等を行うとともに、各本部の部門長及びグループ会社と情報交換を行い、情報収集を担当していきます。また、情報開示の内容、方法等につきましては、必要に応じて主幹事証券会社、監査法人、弁護士等へ確認もしくは相談を行っていきます。
- ） 情報開示担当役員は、部門長及びグループ会社より重要事項等の報告を受け、必要に応じ当該事項について、情報開示担当役員を座長とし IR 担当者並びに当該部門長で構成する検討委員会を招集し、適時開示の要否、内容、方法等を検討し、取締役会に付議し、取締役会は付議事項について審議・決議します。また、当該委員会は、当該事項の適切な開示がされるまで存続し、「開示チェックシート」(別紙 4-1 の「開示チェックシート」をご参照ください。)に必要事項を記載し、当該事項の適時開示に係る緊密な連絡体制のとれる機能を担います。
- ） 上記) の事項に関して内部監査室は、当該事項の適切な開示がされるまで「開示チェックシート」に基づきチェック機能を働かせます。
- ） 情報開示担当役員は、取締役会において審議・決議された事項について開示対象となる重要事項等については、適時に開示していきます。
- ） 情報開示担当役員は、各部門の部門長及びグループ会社に対して、適時開示基準等について明示し、規則等の変更時には、必要に応じて当該変更内容を周知徹底させていきます。また、情報開示担当役員は、全ての取締役の情報開示への認識を更に深めさせてまいります。
- ） 会計を専門とする外部コンサルタントを招聘し、情報開示担当役員並びに IR 担当者は、適切な適時開示のための助言・指導を適宜受けてまいります。

決算情報等の適時開示

- ） 決定事項に関する適時開示
 弊社及びグループ会社に係る重要な決定事項に関する情報につきましては、部門長から担当取締役・本部長を経由して情報開示担当役員へ報告され、情報開示担当役員は必要に応じ、情報開示担当役員を座長とし IR 担当者並びに当該部門長で構成する検討委員会を招集し、併せて監査法人、弁護士等による確認等を行い、適時開示の要否、内容、方法等を検討し、情報開示担当役員、当該部門員及び IR 担当者が発表資料の作成等の事務作業を行い、取締役会に付議し、取締役会での決定がなされた後、貴取引所の規則に準拠して、

直ちに情報開示担当役員から情報開示を行っていきます。

） 発生事実に関する適時開示

弊社に係る重要な発生事実に関する情報につきましては、報告者（発見者）から関係部門長へ、さらに関係部門長を経由して、また、グループ会社に係る重要な発生事実に関する情報につきましては、報告者（発見者）から関係部門長及び代表取締役を経由して、情報開示担当役員が適時開示を行っていきます。また、当該開示の内容は、情報開示担当役員から取締役会へ報告されます。

） 決算に関する適時開示

決算に関する情報につきましては、上記 ）の決定事項に関する情報と同様の手続で、取締役会への付議及び決議並びに適時開示をいたします。

３．改善措置実施スケジュール

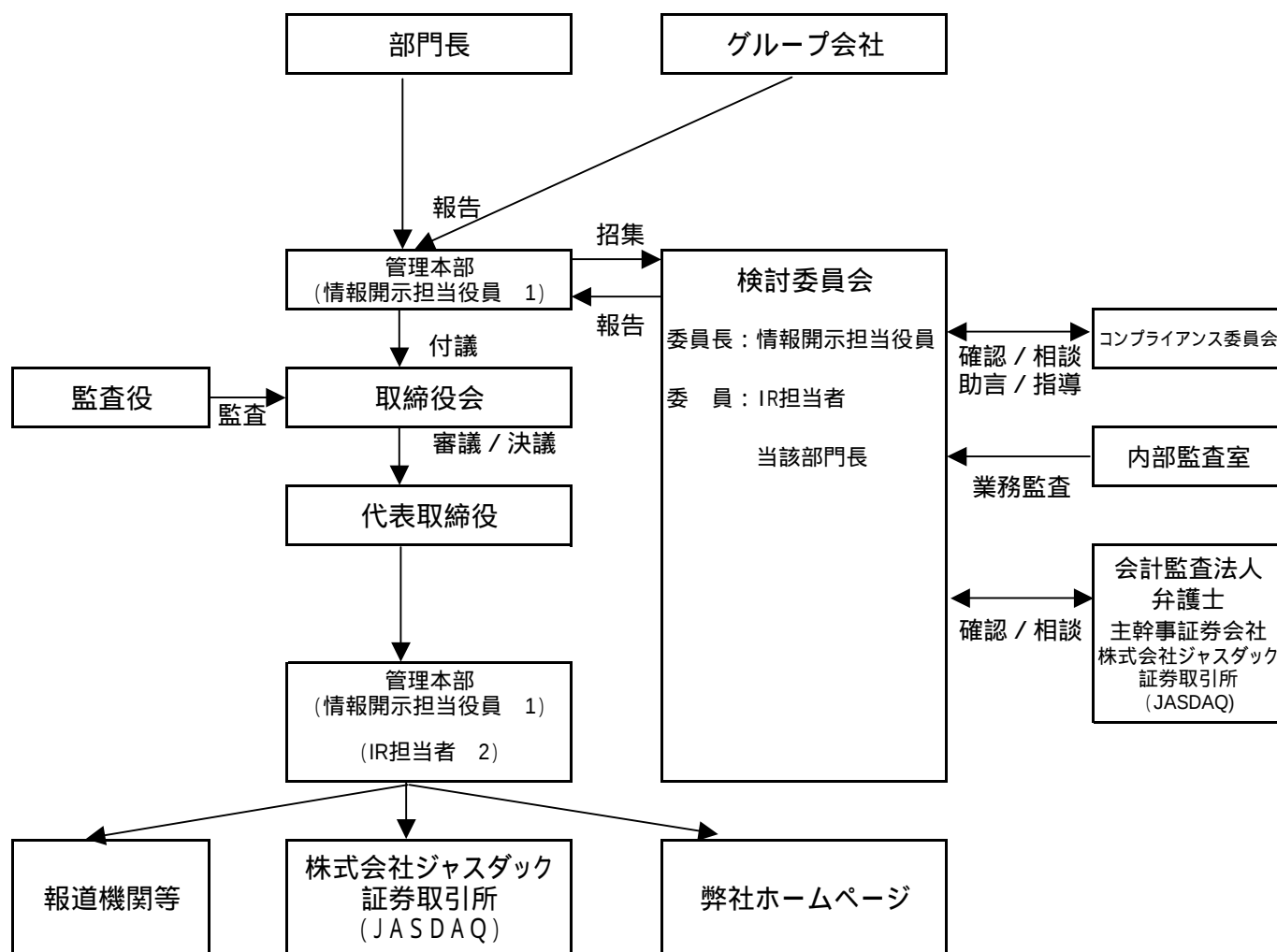
適時開示義務の周知・徹底、経理部門員同士の認識の統一及び経理業務のチェック機能体制の強化に関する改善措置につきましては、即日実施いたします。

また、情報開示部門員並びに経理部門員への外部コンサルタントによる研修、外部より有識者の招聘及び経理部門員の増員につきましては、平成 18 年 6 月末までに完了する事を考えております。

弊社は、平成 18 年 2 月 14 日付けの「改善報告書」において内部統制機能の強化として社内業務処理体制の再構築及び適切な適時開示体制の強化を改善点といたしましたが、今回追加改善報告書の提出を求められることになった事態を十分重く受け止め、深く反省するとともに、社内業務処理体制の再構築を早急に行い、迅速かつ適切な情報提供に努め、上場企業としての「適時開示義務」の重要性を、再度、全取締役及び全従業員に周知徹底させ、「適時開示義務」に対する全社的な認識の統一性と日常の業務遂行においての意識の向上を図り、適時開示体制に係る内部管理体制の見直し及び強化を図るとともに、今後、二度とこのような事態を起こさないように万全を期してまいります。また、株主及び投資家の皆様並びに一般消費者の皆様、各取引先業者様等への信頼の回復により一層努めてまいります。

以 上

適時開示に係る社内体制



1 情報開示担当役員：近能専務取締役

2 IR担当者：浅田課長、水越課長代理

（注1）重要な事実の発生時においては、上記 については報告となる。

（注2） においては、株式会社ジャスダック証券取引所への開示が最初となり、
開示確認後、報道期間等及び弊社ホームページへの開示となる。



開示チェックシート

社 長	情報開示担当役員	検討委員会

開示必要日: 年 月 日

1.取締役会議案

No	報告部門	議案等	内容	開示の要否	その根拠(ガイドライン)

2.相談/確認事項

事前協議先	内容	事前協議先	内容
JASDAQ		監査法人	
関東財務局		主幹事証券会社	
弁護士		銀行	

3.チェック事項

完了確認

1		
2		
3		
4		
5		

4.スケジュール

日付	終了予定事項	内部監査室	遅滞に対する対策

開示実行日迄、秘密厳守